

いわみざわ



発行所 隊友会 岩見沢支部
 岩見沢市西川町519-25
 編集 陸上自衛隊 隊
 岩見沢駐屯地
 印刷 北海道立福祉村
 空知郡栗沢町最上350
 TEL(0126)45-2721

駐屯地司令新年度方針



ります。また、昨年九月の十勝沖地震のように大規模災害が発生する可能性も否定できません。更に、イラク人道復興支援活動への陸海空自衛隊の派遣及び有事関連法の整備に伴い、国民の自衛隊に対する関心が高まっています。

「平成十六年度を迎えて」
 長く厳しい冬も終わり、日の出台にもようやく春の息吹を感じる頃となりました。岩見沢駐屯地では、四月四日に新隊員の入隊式を終え、駐屯地所在の各部隊もそれぞれ新たな年度に向けて整齊とスタートを切りました。本年度も昨年度同様、イラク、北朝鮮、無差別テロ等の問題、そして少しは回復の兆しは見られるものの、依然として厳しい経済情勢等、我が国を取り巻く国内外情勢はこれまでも増して不安定かつ不確実な状況にある

このような環境下において、我々は、何時如何なる事態にも迅速・確実に対応しうる態勢を整備しておくことが重要と考え、駐屯地としましては、平成十六年度の隊務運営の方針を「即応態勢を維持・向上しつつ、隊務運営基盤を整備して『地域から信頼される駐屯地』づくりを推進する」としました。

隊員諸官は、一人一人が自分の職務の重要性を認識し、常に治にいて乱を忘れない「即応の気持ち」を保持し、事に臨んでは「いい仕事」ができるように、個人として、また、部隊としてその技術・能力を錬磨・向上させることが肝要です。

また、十六年度は、イラク人道復興支援活動への要員派遣並びに第十二施設群が第三施設団長の検閲を受けるという、岩見沢駐屯地及び所在部隊にとり重要な年度となります。

イラクへは駐屯地各部隊から、第一次派遣隊には三名が派遣され、第二次派遣隊には二十五名の派遣が予定されています。

「フセイン政権の圧政や湾岸戦争後の長い経済制裁等による国土の荒廃により、生活に困っている多くのイラク国民が、平和で安定した生活を送る基盤を作る手助けをする」という使命感に燃え、派遣隊員達は現地に赴き、また、赴こうとしています。私を始めとする残留隊員一同は、派遣隊員が後顧の憂いなく、しっかりと任務を遂行できるように万全の支援を行っていきたくと思っています。

団長による群検閲は、十月に予定されていますが、今回は北海道全域の広大な地域において、本来の施設支援はもとより、各種の事態への対処を檢せられる

予定です。群は昨年引き続き錬磨を重ね、与えられた任務を完遂できるよう、準備しているところです。

本年度も、隊友会をはじめとする諸先輩の方々、関係協力諸団体・機関の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

第十二施設群隊長兼
 岩見沢駐屯地司令
 一等陸佐 淵之上 徹

新着任中隊長紹介

【第三三五施設中隊長】



1等陸尉 岡本彰博

三月二十三日付をもって、第三三五施設中隊長に上番した岡本一尉です。

最もやり甲斐があると言われる中隊長職を、精一杯務めていきたいと考えています。

上番にあたり、「明朗闊達」を要望事項としました。

隊員とともに明るく、元氣よく、様々な任務を達成できる中隊となれるよう努力を傾注していきます。つもりですので、宜しくお願います。



1等陸尉 菊池力三

【第三一二施設器材中隊長】

この度、群本部第三科土木幹部から第三一二施設器材中隊長に着任した菊池一尉です。

「多様なニーズに対する誠実な挑戦」を要望事項として掲げ、引き続き、第十二施設群の任務達成に最大限寄与できる施設器材中隊を練成していく所存であります。

昨今、テロ行為への対応要領が確立される中で、今年イラクへの人道復興支援という新たな国際的貢献活動が行われております。

我が中隊におきましても、隊員を派遣予定しておりますが、このような多様なニーズに対し、隊員個々の能力として己が己を徹しく律する誠実な姿勢、自主積極的に職務を遂行する挑戦的な気構えを継続的に保持しうることに、確実に群及び中隊の任務を達成できるものと考えております。

今後、皆様のご指導よろしくお願いたします。

名寄から釧路へ 「いいいい日旅立ち」

第三四二施設中隊は平成十六年三月二十九日をもって、名寄駐屯地から釧路駐屯地へ移駐し、中隊の隊員は岩見沢をはじめとする全国各地の駐屯地に旅立って行きました。

中隊の前進である第三〇一地区施設隊が昭和三十二年十二月五日に旭川駐屯地において編成完結し名寄駐屯地に配置されて以来幾多の改編を経つつ、約半世紀にわたり朔北の厳しくも雄大な自然の中で、歴代隊長・中隊長を核心として諸先輩方が一致団結し、道北防衛の一角を担い日夜訓練に励まれるとともに、先輩方の努力と汗がたくさん染みこんだ施設や道路を道内各地の市町村に、駐屯地に、演習場に数多く残された見事な実績を築かれました。

この実績を土台として近年、国内においては平成七年の阪神・淡路大震災救援活動、国外においては平成五年の第二次カンボジア・平成十四年の第一次東チモールPKO活動及びルワンダ難民救援活動に多数の隊員が参加し、国内外問わず活躍してまいりました。
改めて諸先輩の方々が様々な

厳しい環境を克服し築いてこられた輝かしい歴史と伝統の重さを感じるとともに、その苦勞に對して心より敬意を表します。

平成十六年度以降、この輝かしい名寄施設の歴史と伝統が釧路施設の歴史と合体をして、更に精強な第三四二施設中隊になるものと確信しております。

この移住が今後の第十二施設群の充実・発展に繋がることと、全国各地の駐屯地に旅立って行った隊員諸官には新たな任地において「いい土地、いい人、いい風物」と巡り逢う「いい日旅立ち」になることを祈っております。

第三四二施設中隊
三等陸佐 大木 英生



名寄施設隊最後の撮影

出国にあたって

それは、突然何の前触れもなく訪れた。

三三七中隊が北大演習地区爆破訓練場で実施している訓練推奨施策の群長現地指導終了後の群長車で、「団長から、方面から堀田をイラクに」ということで、話があつた。行くか？まず

は、奥さんに連絡して、返事をくれ」そもそも、施設隊の編成が約一〇〇名から五十名になった段階で、群への影響は小さいものになり、ましてや、自分に關係する話があるうとは想像もしていなかった。

方面總監部当時、東チモールPKOに若干携わり、出国行事の際も、目を輝かせて、手を降る隊員の顔を見るに付け、私もこの輪の中に入りたいたいものだ



出田団長とご家族

思ったのが、ついこの間のよう
に思い出された。岩見沢駐屯地
に到着後、直ちに家内に電話を
した。

「僕にイラクの話が来たんだけ
ど問題ある？」
「私が反対しても行くんでしょ
う。行けばいい。素っ気ない
ものだった。これで決まった。」
それから、実際の私の職務等
について具体的なことが逐次判
明した。

イラク復興業務支援隊クウエー
ト分遣班の受入係Bである。
クウエート分遣班は、イラク
(サマワ)へ前進する部隊の前
進基地として、日本からの部隊、
装備・補給物品等の受入、慣熟
訓練の実施、又部隊の帰国前の
出発拠点として支援群本隊等のお
世話をするのが仕事であると
理解している。

それぞれ役割はあるものの、



先崎陸上幕僚長と

分遣班全員で事に当たることが
多いと思う。陸幕及び北海道内
からの寄せ集めの組織ではある
が、朝飯、東千歳、旭川での訓
練を通じ、互いのことを理解す
るには十分な時間があつた。仕
事の中身は現地に行ってみなけ
れば判らないことがまだまだ積
み残されているものの、このメ
ンバーでやっていると聞くと確
信は持てた。

一月二十四日、妻が家族説明
会に参加した。二次隊で出発す
る十一師団の隊員のご家族が主
体であり、連日の報道に不安な
気持ちでいるご家族の質問が相
次いだとのことだ。

「来週には、出発するのに今
さら心配なんてしてられない
わよ。」クウエート行きが決まっ
てから、「家内も少しは不安や心
配することがあつたんだ」とつ
くづくそんな素振りを見せない
家内の強さに敬服するばかりで
ある。

二月三日、いよいよ出国であ
る。この間、群長を始め、同僚、
駐屯地の隊員皆さんの熱い援助
のもと今日を迎えることができ
ました。感謝の気持ちでいっぱ
いです。まずは、無事帰国する
ことをお約束して旅立ちたいと
思います。行ってきます!!

平成十六年二月一日

三等陸佐 堀田 浩一

『隊友の集い』

平成十六年三月七日(日) 十二時三十分から隊友会岩見沢支部の最終事業となる恒例の『隊友の集い』が開催され、隊友四十六名が参加しました。初めて参加された方、札幌・恵庭から参加された方等があり、和気藹々楽しい一時を過ごしました。

場所は昨年と同様に岩見沢市志文町の『湯元いわみさわ温泉』で開催されました。

泉質はナトリウム塩化物強塩泉で効能は高血圧症、神経痛、打ち身、疲労回復に効果があり、美肌、アトピー性皮膚炎などにも効果のある茶褐色の湯である。また道内でも珍しい五度の水温を保つ保温室があり、発汗後に入ると効果的だそうです。

参加した隊友は、早々に麻雀の卓を囲む組、『囲碁・将棋に



麻雀の部 左から古賀氏・田代氏・清水氏・黒田氏・細川氏

興じる組』『入浴セットをかかえて入浴する組』にそれぞれ別れて心と体のリフレッシュを行いました。

中にはゲームに熱中のあまり温泉に入浴を忘れた隊友もありました。

十七時三十分からは全員一同に会して懇親会が開かれ、古賀氏、清水氏の指揮のもとビンゴゲームが開始となり隊友から『何番を出せ！出さなきゃクビだ！』との冗談も飛び交い全員がめでたくビンゴし景品片手にマイクロパスへ。外は三月だと云うのに、春の至来どころか大雪の吹雪の中、身も心も温まつて二次会やら家路やらへと三々五々と夜の町へ消えていきました。また来年も来て楽しんでください。お待ちしておりますよ。

大宮 勝亀 記



清々しい顔の入浴組 左から 長崎氏・小山氏・田中氏・河東氏・穂積氏



懇談会開始前の一時

あの人は今



定年退官して僅か半年の昨年八月五日、この年一番暑い日の出来事だった。

私は緊急に、二度目の頸椎の手術を余儀なくされた。全身麻酔から目覚め、静かに手足を動かしてみた。足は動くものの両手は動かなくなっていた。「たれ流しの人生を過ごすのか」落胆と、身動きすらできない術後の苦しさ、暑さに追い打ちをされた。翌日、苦しさが少し和らぎ始めた頃、左手が少し動き出した。「たれ流しが免れる」「家族への負担が減る」嬉しさが込み上げてきた。車いす生活を始めた頃、

友が次々にお見舞いに訪れ、励ましてくれた。忙しい中、駆けつけてくれる友に勇気づけられ、リハビリ生活が始まった。私は友に励まされる度に、絶対に自由に手を動かせるようにするぞと心に誓った。退院するまでの約七ヶ月間、我が家はまさに波瀾万丈。家族全員が次々と病院のお世話になる有様。そんな状況の中、友は、病院の見舞いから通院のための送り迎え、そして家の雑用に至るまで全て面倒を見てくれた。私は、友の有り難さを痛切に実感するとともに、深く感謝しながら、全て甘えた。友の支えにより、私は、安心してリハビリに専念する事が出来、今では何とか自活できるまでになった。私は、自分や家族そして友の為に、挫折することなく、もう少し、もう一歩進んだリハビリをして、私にも出来る範囲をもっと広げたいと考え、今現在リハビリに専念している。何時の日か、お世話になった友達に、今度は私にも出来る事、何かができつつあるはず…。病氣や事故等、いつ誰がどのような健康状態となり、不幸な人生を送るか分からない今日、一人では生きていけない。中国の古典の中に『心と和し気平らかなる者は百福自ずから集まる』とある。心身の調和と気持ちの平らかなさを保つ事だと思

う。それには、自愛・家族愛そして友との友情いずれも欠かすことは出来ない。私は、今回の入院により「友人」がいかに大事であり大切な宝物かを改めて認識させられた。健康な家族と真の友を得ることは財産である。楽しい人生を過ごす秘訣でもある事を健康である皆様にお伝えしたい。

平成十五年二月 退官 北山 幸一

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
 事務局：岩見沢商工会議所内
 支部長：武 蔵 信 一
 TEL：0126-22-3445

Gibraltar
ジブラルタ生命
 私たちはブルデンシャル・グループの一員です。ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国最大級の金融機関であり、世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。
ジブラルタ生命保険株式会社
 札幌南支社 岩見沢支所
 〒068-0024 岩見沢市4条西4丁目 フォenixビル4F
 TEL: 0126) 22-4875 FAX: 0126) 22-5734

北方領土返還運動のシンボルの「花」

「千島桜」が決まり

金賞を受賞する



ボルの花を
公募（平成
十五年九月
二十一日か
ら十月三十
一日まで）があり全道各地より
二百七十八通の応募があったそ
うです。シンボルの花は、選考
委員会で選考の結果、「千島桜」
に選ばれました。

千島という名前が直接北方領
土を連想させ、最もふさわしい
花であるという理由でシンボル
の花に決定し、イラスト化しま

（日露通好条約が締結された日）
であり、当日十二時四十五分か
ら（札幌雪まつり）会場の読売
広場大雪像（松井NY）壇上で
北方領土フェスティバルが行わ
れ、シンボルの花の表彰式で金
賞を受賞しました。

隊友会岩見沢支部
顧問 長崎 進

『近況と健康管理』

吉野 栄

四十数年、第一次第二次の職
場を終了

その間皆様に多大な御協力と
支援を巨り感謝いたします。現
在は、健康管理に留意し、一年
を通して風もひかないように、
なりました。

昨年は四月から約七ヶ月就職
し十月まで勤務。その後の健康

維持のため、毎朝血圧の測定し
つつ、食事に関しては、特に暴
飲暴食に注意し、また肥満にな
らないようにウォーキング、冬
期には住宅周辺の排雪等、常に
体を動かすように専念し、今後
も健康管理に関心をもち、六十
五歳を迎えるにあたり自己管理
に心掛けて生活を送りたいと思
います。




一棟一心

木造注文住宅


東日本ハウス

http://www.togashinihan.co.jp/


東日本ハウス 札幌支店
〒063-0803 札幌市西区二十四軒3条4丁目1-8
☎(011)642-2131 0 FAX(011)642-2299

 **GEエジソン生命**
あなたに[Best]を考える。

GEエジソン生命保険株式会社
岩見沢駐屯地 常駐社員：田村純子
TEL 0126-22-1001(内線338)

 **千葉電気工事株式会社**
代表取締役 千葉嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

 明治安田生命

お客さまの「いつも身近にいる会社」をモットーに、私たちはこれからも、安心をお届けしてまいります。

担当営業職員
村山 利江
伊藤 佳代子

明治安田生命 岩見沢営業所
〒068-0024 岩見沢市4条西1
電話：0126-22-1637
FAX：0126-22-7340

素朴で、安く、安心して飲める店です。
お通し、ボリュームあります。
飲み放題・歌い放題で一人様2,000円。
宴会・二次会に！50名様入れます。
幹事さん・・・
ご利用をスタッフ一同心より
お待ちしております。

スナック **夏花**
岩見沢市3条西1丁目 長谷川町子

保 険 王

あなたと生きていく保険。

 **朝日生命**

岩見沢営業所
電話 (0126) 22-0207番

三井グリーンランド
ホテル **ザンブラザ**

ご婚礼スーパーセレクト
プラン
「Only one」発表！

この泊のお客様は遊園地入園無料！
(宿泊当日と翌日の2日間)

1066-0004 岩見沢4条西1丁目 遊園地1号
☎0126-22-6656 FAX0126-23-7766

三井グリーンランド
遊園地・ホワイトパーク
4条西1号 遊園地・ホワイトパーク
札幌市中央区南10丁目

お二人の旅立ちを、真心のおもてなしでご祝福いたします。

 **Wedding**

IWA.MIZAWA HEIANKAKU
岩見沢市東山町1丁目 TEL. (0126) 23-4561

我が部隊

団 冬 季 施設戦技競技会

第三三七施設中隊

一等陸曹 石川 信明

二月十三日(木)晴天の中南
恵庭駐屯地発着点で実施された
団冬季施設戦技競技会に第一小
隊二分隊分隊長として参加。

今年度の施設戦技会課題は、
一分隊は、七〇式地雷原爆破装
置。二分隊は、道路装薬及び地雷
による道路閉塞。三分隊は、屋根
型鉄条網です。順位決定要領は、
ゴールタイム及び課題の減点、
加減方式でタイムに反映され順
位が決定する方式です。

群の成績は、昨年度以上に好
成績であり内容も納得のいく大
成果でした。また我が第一小隊
(島崎二尉)は、「ベスト・プラ
ト



ベスト・プラトン賞の受賞

トン賞」を獲得しました。また
私個人も「愚直な施設科隊員賞」
をいただき二重の喜びでした。

ここまで至るには、隊員の課題
に対する旺盛な研究心と確実な
施設作業を実施しようとする各
個人の強い気持ちだと思います。

群長及び副群長(訓練隊長)が
特に力説されたことは、「課題
を確実に実施できれば走力が遅
くとも好成績を修めることがで
きる」と力強い調子で教育され
ました。それから走力よりも課
目について研究、反復演練を繰
り返しおこないました。私は、競
技会当日の朝「小隊の順位は、我
が分隊にかかっている団で一番
とるぞ」と叱咤激励をして競技
会にのぞみました。結果は、いつ

業務隊衛生科医官 三佐
門 脇 美 佳
「口の中にもっと関心を」
歯学生生に見たハンバーガー
ヒルというアメリカ映画の冒頭
のシーンは、米軍キャンプ地で
朝、全員が歯磨きをしていると
ころから始まります。
健康管理を重視する米軍なら
ではの話ですが、隊員の皆さん

「歯の事なら私にお任せ」

は訓練の時にも歯磨きをしてい
ますか、一般的に、初期ウ蝕の
うちに発見し、すぐに治療を開
始した場合、治療回数は数回で
済みますが、進行したウ蝕の治
療は、費用も回数もかかります。
冷たいものがしみる、欠けたな
ど自覚症状のある方は、痛みが
ひどくなる前に積極的に歯科受
診してください。



愚直な施設科隊員賞を受賞する石川一曹

もより二十分短縮した五十七分
で小隊の新記録でした。
最後に隊員の声「群長があん
なに喜んでくれたのは、一番う
れしい。頑張ったかいがあった。」
と私の耳もとに聞こえてきまし
た。みんな一つの旗の本頑張っ
たんだなと感激しました。これ
からもこの気持ちを忘れず訓練
等に邁進したいと思っています。

結婚おめでとう



第三三五施設中隊
三曹
廣 部 宗 則
みゆき
二月一日



第三二二施設器材中隊
三曹
片 岡 大 介
早 苗
十二月二十八日



第三〇二坑道中隊
三曹
舟 生 裕 人
静 香
二月七日

永年の勤務 ご苦労様でした



【本部管理中隊】
一等陸曹
松 園 俊 郎



【第三一四基地通信中隊】
陸曹長
藤 原 眞
就職先
札幌パブリック警備



【業務隊】
二等陸尉
岸 良 省 三
就職先
北海道ハイウェイサービス

こんにちわ赤ちゃん



第三三六施設中隊
三尉
木 村 恒 太
次女 涼花ちゃん
一月十三日



第三三六施設中隊
三曹
井 橋 淳 哉
長男 雄哉くん
一月二十日



第三三六施設中隊
士長
水 島 直 樹
長男 大輔くん
十二月二日



第三四二施設中隊
士長
竹 谷 隼
長女 七星ちゃん
一月二十二日

人事往来

転出

【群本部】

一尉 平田 昭浩 四施大
一尉 田中 悟 五施団本部

【本部管理中隊】

一曹 鎌田 久義 岩駐業
二曹 川村 周平 三〇三夕
二曹 松田 茂雄 北方総付
三曹 鳴海 忠文 十施群

【第三三五施設中隊】

一尉 長岡 睦 施設学校
三曹 早坂 忍 丘珠駐業

【第三三六施設中隊】

二曹 鬼頭 孝宏 十三施群

【第三三七施設中隊】

二尉 島 寛伸 一空挺団

【第三四二施設中隊】

曹長 小松 勝重 名寄駐業
一曹 山本 正司 二施大
二曹 眞田 賢一 五施群
二曹 澤田 儀文 三偵察隊
二曹 森川 正規 三施団付
三曹 池田 哲 二偵察隊

【第三二二施設器材中隊】

二曹 吉田 重孝 北志庭業
三曹 川本 晃英 十三施群

【第二直接支援中隊】

二尉 荒井 輝英 恵庭施直大
二曹 近藤 貢紀 恵庭施直大
三曹 鈴木 昭司 高射直支大

【業務隊】

一尉 佐藤 忠 一〇二偵隊
一尉 林 宣義 十師団
一曹 野村 幸雄 七十一戦連

【会計隊】

二尉 白砂 智隆 関東補処

転入

【群本部】

一尉 本山 順治 北方総

【本部管理中隊】

准尉 嘉副 明人 一施群
一曹 榊 文親 三施団付
一曹 橋本 正弘 一施群
二曹 甲田 光男 一施群
二曹 井上 邦子 施設学校

【第三三五施設中隊】

一曹 渡邊 史生 一施群
二曹 千葉 孝幸 二施大
三曹 森廣 信也 一施群
三曹 佐々木隆行 一施群
三曹 満山 英樹 一施群
三曹 山吹 隆夫 一施群
士長 引地 秀也 一施群

【第三三六施設中隊】

二曹 横山 正洋 一施群
三曹 中島 典幸 一施群

【第三四二施設中隊】

三曹 浅野 良典 一施群
三曹 森口 恭 一施群
三曹 内城 満博 一施群
三曹 片倉 利幸 一施群
三曹 木村 亮一 一施群
三曹 松枝 秀治 十三施群

【第三三七施設中隊】

二曹 野中 孝樹 一施群
二曹 西原 寿晃 十三施群
二曹 長谷 秀明 十三施群
三曹 岩下 栄市 二施大

【第三四二施設中隊】

三佐 圓林 栄喜 一施群
二尉 鮫島 博昭 一施群
准尉 渋谷 金司 一施群
曹長 松崎 金司 一施群
曹長 小澤 博幸 一施群
曹長 下澤 榮治 一施群
一曹 梅田 賢二 一施群
一曹 工藤 正美 一施群
一曹 小玉 幸一 一施群
一曹 川崎 隆彦 一施群
一曹 荒井 年春 一施群
一曹 大森 幸男 一施群
一曹 渡部 勝浩 一施群
一曹 曾我部寛二 一施群
一曹 中村 英謙 一施群
二曹 秋本 和春 一施群
二曹 佐藤 正雄 一施群
二曹 若山 淳 一施群
二曹 千葉 優二 一施群
二曹 津田 雄一 一施群
二曹 小山 利春 一施群
二曹 下田 賢司 一施群

【第三〇二坑道中隊】

三曹 菅原 賢二 一施群
三曹 伊藤 尚宏 一施群
三曹 大越 雄介 一施群

【第三一二施設器材中隊】

三尉 中内 英人 一施群
三曹 古道 誠二 一施群
三曹 徳田 雅敏 一施群

【第二直接支援中隊】

二尉 河原 裕幸 一〇五施器
二尉 鶴田 康 恵庭施直大
一曹 川越 純隆 恵庭施直大
二曹 魚住 正広 恵庭施直大
二曹 村田 正隆 恵庭施直大
二曹 香西 昭一 恵庭施直大
三曹 米山 努 恵庭施直大
三曹 坂本 忍 恵庭施直大

【業務隊】

一尉 森永 誠 二高射
一曹 鎌田 久義 十二施群

【会計隊】

三尉 神保 亮夫 中央会計隊
曹長 木立 元昭 三四三会計